

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(22)番 福山市立高島小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	主体性	自己理解
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	・物事を多面的に見たり, 考えたりして, 課題を設定し追究している。	・より高い目標を立て, 希望と勇気をもってくじけないで努力している。	・自分の長所や短所を理解し, 自己の生き方を考えている。

2 授業の現状

理科・図画工作科を中心に意欲の向上, 思考力, 判断力の育成, 協働の学び合いを意識した授業づくりを進めている。「子ども主体の学び」について目指す子どもの姿を明らかにし, どのような授業づくりを進めるか共通理解を図り取り組んでいく。

転換

3 めざす授業の姿

- ①単元構成や導入を意識し, 意欲の高まりと明確な課題意識により, 主体的な学びを喚起・継続する授業
- ②思考の「すべ」を活用し, 児童が課題発見・解決する授業
- ③子ども主体, 協働的な学び合いがある授業
- ④自己の成長や課題を自覚し, 児童が次の学習に活かすふり返りのある授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①単元構成や導入を工夫する。 ・既習事項や経験との比較 ・ゴールイメージの明確化 ②思考の「すべ」を活用する。 ・比較, 分類, 関係づけ, 理由づけの徹底 ③1日1回以上協働学習を行う。 ・順序や理由, 定義を意識した説明 ④1日1回以上振り返りを書く。 ・自己の成果と課題の意識化	①校内研修で共通理解し, 授業づくりに活かすことができた。 ②意図的に“比較”や“理由づけ”して考えられるようになった児童が増えた。しかし, その他の「すべ」は定着していない。 ③協働学習は行っているが, 順序や理由・定義を意識した説明ができる児童は少ない。 ④1日1回, 成果と課題を意識した振り返りが書けた。次時に活かす工夫, 内容の充実が必要。	①子どもが主体になる工夫をする。 ・導入の工夫(時間・単元) ・単元を貫くめあての設定 ・“つぶやき”を活かす授業づくり ②思考の「すべ」を意識化する。 ・分類, 関係づけの意図的指導 ③深まりのある協働学習を行う。 ・設定場面の工夫(課題発見・解決) ・話し方, 聞き方の指導の徹底 ④振り返り内容を充実させる。 ・できるようになった課程や, 課題克服の取組を具体的に記述			

5 取組の結果等

数値は2017年(H29年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	78.0(+1.0)	58.0(-3.0)
算数	82.0(+1.0)	43.0(-4.0)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	77.6(+6.1)	58.7(+6.3)
算数	90.6(+13.5)	76.2(+10.8)
理科	75.5(+5.1)	52.1(+1.1)

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) /48	(50m走, シャトルラン, ソフトボール投げ)それぞれが36項目のうち		
(女子) /48	20項目以上県平均以上にす。結果 県平均以上18項目		
目標値			

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	65.4	26.9	69.2	7.7	57.7	26.9
学校が楽しい	92.3					

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	0	71.4
仕事に充実感がある	0	42.9

児童生徒アンケート(%)

質問項目	(6)月実施	
	当てはまる	少し
授業で意欲的に発言している	46.5	38.6
自分の考えは, 認められている	40.9	37.0

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)

(8)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---